



大成功！ 生徒主体の学校説明会 ～子どもの目線で魅力を発信～



10月22日(金)は学校説明会を実施しました。本校の魅力を発信する絶好の機会です。参加者は佐久・上小圏域より27名の中学生と、その保護者と教職員の皆さまの約50名でした。

最初の授業見学の見どころは、本校の特長である双方向型でつくりあげる授業。生徒と教師の距離が近く、授業に自然に参加できる工夫を凝らした授業が各教室で展開されました。続いては体育館で全体会。この機会をやる気満々で準備していたのが、新旧生徒会役員の皆さんでした。現役生による授業・コース説明、部活動、行事などなどの映像

つき説明は、中学生にとって先輩たちの姿が生き生きと輝いて見えたことでしょうか。特に創立120周年記念で臨んだ取り組みである「全校ダンス」の映像には、皆食い入るように鑑賞していました。

中学生の皆さんへ。学校見学を随時行っています。ご希望の方は、担任の先生へご相談ください。

中学生感想

- みんなが先生の話をしっかり聞いていて、先生たちも生徒にわかりやすいように教えていた。
- 先生と生徒の仲が良くて、明るくて笑い声があって、とてもいい雰囲気でした。
- いろいろなイベントや部活、委員会や最後のダンスビデオ、どれも魅力的でした。分かりやすかった。
- 楽しそうで、見ていたらこちらもうきうきしてしまった。
- 学校の行事などたくさん細かく説明があり、すごく分かりやすかった。



保護者・中学校関係者感想

- 生徒の発言する機会が多いと感じました。受け身の授業ではないことがわかりました。
- 難しい内容でも生徒の声を聞きながら丁寧に教えている先生方の姿と、一生懸命に取り組む生徒の皆さんの姿が印象的でした。
- 生徒会の皆さんが自分たちの生の声で説明してくれたので、とても分かり易かったです。説明の仕方、発表の仕方とても上手でした！生徒会の皆さん、ありがとうございました。
- 一人ひとりをととても大切にしてくださる学校だということがわかりました。
- 教職員と生徒の皆さんが一緒になって、よい高校を創っていかうとする雰囲気がよく伝わった。



いい汗かこう！ 地域で協働 ～権現山公園の整備作業～



本校の教育モットーの一つに、「地域連携教育」があります。本校生が地域社会に出て、社会人との協働作業を通し、そこから多くのことを学んでほしいと願っています。10月20日

(水)、2年生の地域コースの30名は、「地域I」授業の一環として、権現山公園の整備作業に出かけました。そこには両角町長をはじめとする役場職員、ロータリークラブ、建設連合会などの皆さんが待っていました。この公園は、29日の強歩大会で生徒も利用させてもらう場所です。生徒は緊張しながらも、黙々働く大人の姿に刺激を受け、一生懸命整備作業に取り組みました。

この様子は、信濃毎日新聞にも取り上げられました。→
引率のF先生談：「普段教室では反応の乏しい生徒が、周りに指示を出して作業している姿を見て、驚きました。」

立科で清掃活動
蓼科高校生ら協力

立科町の町建設業連合会や蓼科高校、蓼科ロータリークラブは、同町の権現山運動公園をボランティアで清掃した。3団体から計約70人が参加。4組に分かれ、公園の入り口や野球場周辺などの植え込みの雑草を刈ったり、街路樹の落ち葉を拾ったりして、約2時間汗を流した。

ボランティア清掃活動は同

連合会が約30年前に始めた。数年前から蓼科高が地域を知る授業の一環として加わり、20日に行った今年度は2年生約30人が参加。蓼科ロータリークラブは「地元への奉仕活動を広げたい」と初めて加わった。町職員数人も協力した。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大で中止し、2年ぶりの実施。連合会の橋詰正清理事長は「災害復旧工事の追い込みで忙しい時期。大勢に参加してもらってありがたい」と話した。

ボランティアで清掃する蓼科高生ら

10月27日(水) 信毎第27面(東信版)

刺激満載！「第2回蓼科学」 ～二人のゲストをお招きして～

前川道博先生(長野大学教授)による「蓼科学」の第2回が、10月26日(火)に行われました。今回は「立科町ってどんな町?②」というテーマです。地域おこし協力隊の芳賀宏さん、もう一人が吟遊詩人の羅針さんという2人のゲストのお話も交え、生徒は興味津々で授業に参加しました。



革ジャンが似合う芳賀宏さん



羅針さんによる弾き語り

困ったお話(その49) (私の前世)

前川先生による第2回「蓼科学」にゲスト参加された吟遊詩人の中村羅針さんには、私も生徒も衝撃を受けた。羅針さんは女神湖と霧ヶ峰高原をこよなく愛し、そこを拠点になんと32年間の長きにわたって全国をさすらう旅を行っているという。その純粋で飾らないお人柄にも感銘を受けた。

羅針さんはギター1本で、女神湖を題材にした心にしみる歌を生徒に披露して下さった。また、特殊能力をいくつか持っておられ、驚いたことに誕生日からその人の前世がわかるのだ。トーク時でも、生徒が誕生日を言うと、「あなたの前世は踊り子だった。」とか「神に仕える立場だった。」などと教えてくれた。

さて、授業が終わって玄関で見送るとき、私は衝動がおさえられず困って訊いてみた。

私 『私の誕生日は9月27日です。前世はなんですか?』

羅針さん 『革命家でした(きっぱり)。』

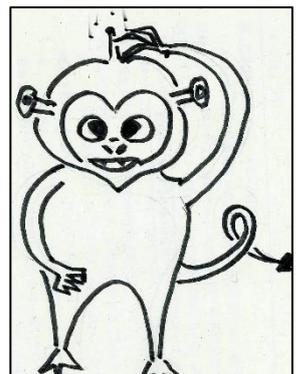
私 『えっ!?!』

羅針さん 『あなたは民衆によりよい社会を教え導いたのですが、弾圧されて死にました。子供たちを教える教師になったのも、その前世の影響です。』

『オレが何で社会科の教師になったのかがわかったぞ!』

あとで妻にそのことを話すと、笑いながらこう言われた。

『いや、あなたの前世は珍しいヘンな小動物の気がする。』



私の前世(異論あり)